

## Q&amp;Aシート

更新日：2024/11/28

NO	Questions	Answers
1	PARKSで行う公募との併願について、実施内容を切り分ければ同時に応募可能なのか？	PARKSに応募された同じ内容では、本公募には応募できません。実施内容を切り分けて応募されるとのことですが、事前に当拠点にご相談の上応募をお勧めいたします。
2	PARKSに採択された課題でも支援期間終了後であれば、本公募に応募可能か？	支援期間が終了しているのであれば、応募いただく事が可能です。
3	他の橋渡し研究課題と類似性の高い内容との同時に応募はできないというのは、応募自体が不可なのか、両方採択された際にはどちらかを辞退しないといけないのか？	AMED補助事業事務処理説明書（p.7）にもあります通り、同時応募について、制限するものではございません。もし、同時に採択が決まった場合は、それぞれの公募に申告いただき、どちらかの事業を選択いただくこととなります。詳細は下記説明書をご確認ください。 <a href="https://www.amed.go.jp/content/000126037.pdf">https://www.amed.go.jp/content/000126037.pdf</a>
4	今年度のS0の採択件数は2件とのことですが、次年度の公募は何件程度が予定されているのか。また公募時期はいつ頃になるのか。	次年度について、公募は2025年3～4月に公募を予定しており、採択数は、S0が5課題、S1が4課題、S2が1課題を予定しております。
5	S1の達成目標について、起業の見通しがたっていればよいのか？	S1については、支援期間内に起業することが必要となります。
6	支援シーズは医薬品・医療機器等とありますが、スクリーニングシステムや診断薬なども対象になるのか。	スクリーニングシステム等のライフサイエンス系に関わるプラットフォーム技術及び診断薬（体外診断用医薬品）も対象としております。
7	起業直後のスタートアップに対してS2の支援は来年以降となるのか？	当拠点の2024年度の公募では、起業前のS0、S1のみを対象としております。起業直後を対象とするS2については、2025年度の公募より募集いたします。
8	支援期間について、年度単位となるのか？	本事業での支援は年単位となります。例えば支援期間2年のS0について2024年3月から支援を開始した場合は、2026年の2月末までが支援期間となります。
9	シーズS0について、大学院生でも応募可能か？また、学位や職位に制限はあるのか？	当拠点では、今回の公募では大学院生の方は対象外とさせていただいております。学位・職位についての制限はございません。開発の要素もあるため、支援期間内に研究開発できる環境にあることが必要です。
10	研究者本人は起業する気だが、投資が見つからず起業できなかつたらどうなるのか？	起業前に将来の投資家が見つかることが望ましいという点ではありますが、当然見つからない場合もあります。応募された自身でその点のリスクも踏まえ起業していただくこととなります。
11	S1に関して、スタートアップとの共同研究が成立している大学発シーズも対象になるのか？	S1については、起業をしていただく事が目標となります。すでに共同研究を締結しているスタートアップと行われている共同開発品のためという趣旨であれば対象となりません。
12	支援内容については、本事業に採択されなければ支援を受けられないのか？	本事業のためとして、関係機関と連携して、公募要領等に記載したご支援を提供させていただきます。そのため基本的には採択された課題のみが支援対象となります。具体的に何か支援をご希望されている課題があれば、別途、当拠点に直接ご相談ください。
13	説明会の中で拠点として感染症領域にも取り組むとの話があったが、今回の応募では採択数が少ないため、他の分野は採択の可能性が低いということはあるのか？	当拠点を感染症を中心とした拠点にするということではございません。そのため感染症シーズが優先されるということはありません。シーズとしてどれだけ革新性、実用可能性、事業性等があるか、ということが評価の対象とさせていただきます。
14	申請者がCTOとして参加し、CEO等を外部人材(CxOバンクなどから)をリクルートして起業をするのは認められるのか？	創業株主として研究者の方が会社を登記することになります。創業時のCEO他経営執行者をどうするか、創業株主である研究者が執行者を兼任するのか、兼任するならどのポジションでどの段階まで行うのかはケースバイケースです。研究者が、起業家・創業株主としてのマインドを確りと持った上で、経営執行体制をどう築いていくのかが、事業化の重要なポイントとなります。支援開始から研究者と当拠点で確り目線合わせを行いながら、当拠点として人材紹介を含めご支援させていただきます。
15	九州大学以外の橋渡し拠点課題のシーズで応募する場合など、拠点所属変更などする必要はあるのですか？	他の橋渡し支援機関で支援を受けられている課題とまったく同じ課題としての重複応募はできません。仮にその他拠点での支援が終了後との話であれば、プロジェクトマネジメント等については、そのままその拠点で引き続き担当いただき、事業化を中心に九州大学拠点で本事業採択後は支援するという事は可能です。本公募に応募するために関連するシーズ支援をすべてを九州大学拠点で行うところまでは必要ございません。